

世界を知る

2023.3.3

世界全体

感染者数

6億7402万9151人

死者数

686万2930人



世界全体

感染者数

6億7503万5837人

死者数

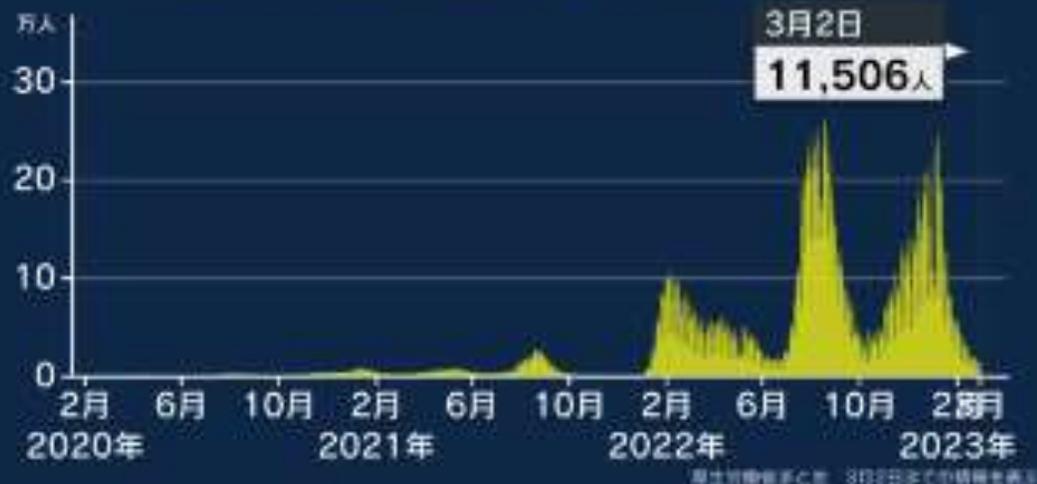
687万238人



感染者数 死者数

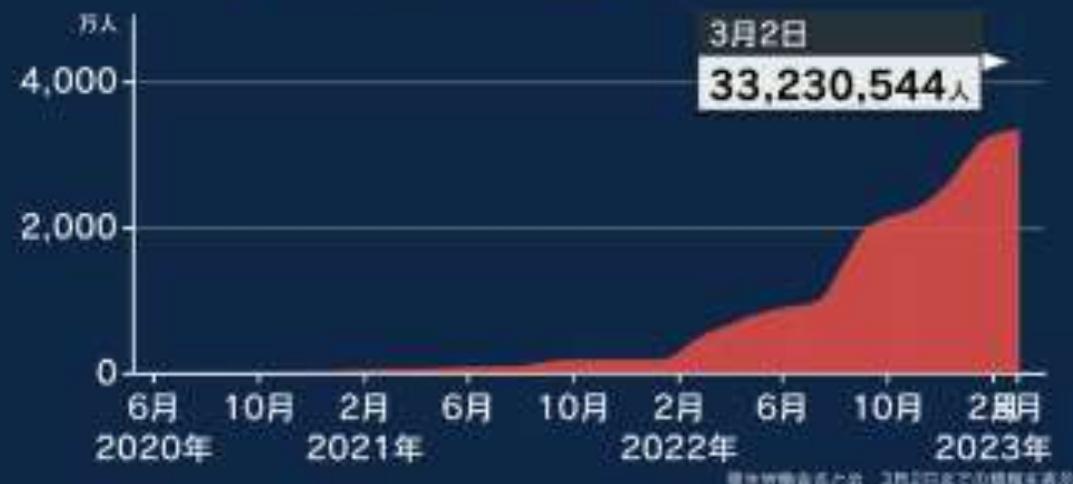
国内の感染者数（1日ごと）

NHK



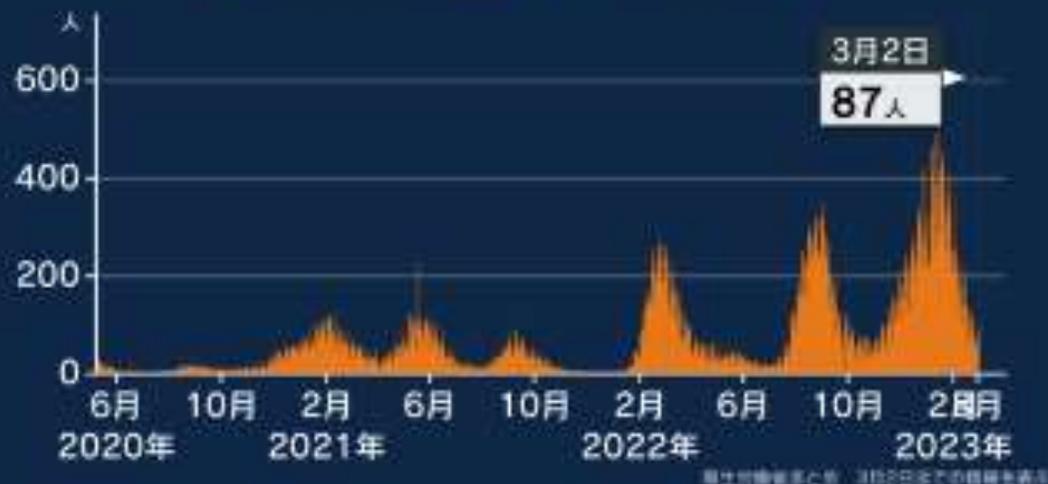
国内の感染者数（累計）

NHK



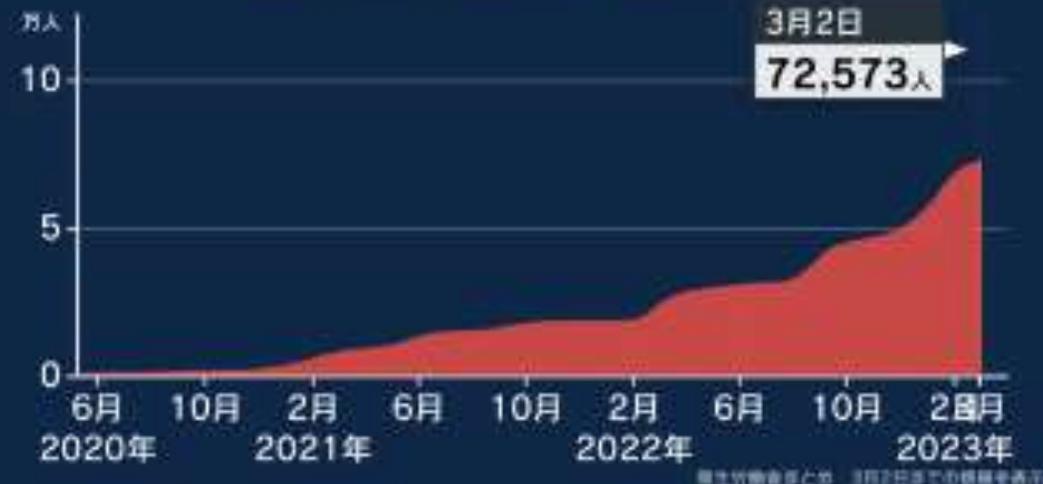
国内の死者数（1日ごと）

NHK



国内の死者数（累計）

NHK



点鼻型ワクチンが登場

NEWS



注射ではないワクチン接種方法

初の経鼻投与型インフルエンザ予防ワクチン「フルミスト」など6製品承認へ 薬食審・第二部会で了承

公開日時 2023/02/28 04:51

 印刷  コピー

厚生労働省の薬食審・医薬品第二部会は2月27日、第一三共の鼻腔噴霧インフルエンザ弱毒生ワクチンの「フルミスト点鼻液」など6製品を審議し、いずれも承認を了承した。正式承認されると、フルミストは国内初の経鼻投与型のインフルエンザ予防ワクチンとなる。投与対象は2歳以上19歳未満。また、阪大微生物病研究会の百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎（ポリオ）、インフルエンザ菌b型（Hib）による侵襲性感染症を予防する5種混合ワクチンの「ゴービック水性懸濁注シリンジ」の承認も了承された。5種混合ワクチンも国内初となる。

◎エンハーツ HER2低発現乳がんの適応追加へ

報告品目は9製品で、この中には第一三共の抗体薬物複合体（ADC）・エンハーツ点滴静注に「HER2低発現乳がん」の適応追加が含まれる。HER2低発現乳がんの適応を持つ薬剤はエンハーツが初めて。HER2低発現乳がんは、乳がん患者全体の約半数が該当するとされている。

- 点鼻薬として開発
- 海外ではすでに承認されている
- 鼻の粘膜に作用し病原体が付着しにくくする
- 副作用が少ない
- 全年令対象ではない

コロナ高額薬、無料継続へ 入院も公費支援案、5類移行後

2023/02/24 22:19



新型コロナウイルス感染症の5類移行後の医療費を巡り、政府が外来医療での抗ウイルス薬など高額な治療薬の公費支援を当面継続し、患者の支払いを無料とする方向で検討していることが24日、分かった。また急激な負担の増加を避けるため、入院医療費も一定の公費支援を続ける案がある。期間は数カ月から1年程度を想定。今後、関係団体と調整する。

また患者対応をした医療機関への診療報酬も見直す。3月末で期限を迎える「特例加算」は延長せず、その他の特例も5月8日から段階的に縮小する方向だ。

新型コロナの治療薬は、1人当たりの薬価が10万円近い抗ウイルス薬モルヌピラビルなど、高額なものがある。現在は全額公費負担となっており、5類移行後も一定の期間継続する。一方、解熱剤といった一般的な治療薬や検査は、自己負担を求める方向で検討する。

新型コロナ医療体制移行のイメージ

	2022年夏	移行期間	将来像
自己負担	なし	外来：高額薬は無料 入院：高額療養費制度の対象、公費支援で負担軽減	あり 高額療養費制度
入院	重点医療機関など 5万1000床	幅広い病院 【4万6000床】	全病院
外来	4万2000施設	順次拡大	6万4000施設

新型コロナ医療体制移行のイメージ

(共同通信)

- 新型コロナの感染症分類が2類から5類へ
- 高額治療費問題は国の補助を続ける方向で検討
- 検査は自費
- 一般診療で対応できるものは段階的に縮小

新型コロナ規制緩和

外国クルーズ来航、19年水準へ 3月、中国受け入れ停止で
受け皿

2023/02/26 21:01

 KYODO

外国船社によるクルーズ船の日本来航が約3年ぶりに再開される3月、全国の主要42港への寄港回数が、新型コロナウイルス禍前だった2019年の水準に迫る見通しであることが26日、共同通信社の集計で分かった。既に22都道府県の23港で計89回が予定されている。ほかの港も受け入れに向けた協議が進んでおり、19年3月実績（42港で125回）にさらに近づく可能性がある。

自治体による誘致活動の成果に加え、中国が国際クルーズの受け入れを停止している影響で日本が受け皿になっていることなどが要因とみられる。ただ、19年のクルーズ訪日客総数（215万人）の出発国の8割は中国が占めていた。



長崎港に入港したクルーズ船から下りた中国人ツアー客ら＝2018年1月、長崎市

(共同通信)

- インバウンド需要を期待
- 海外からの観光客を呼び込む
- 中国がクルーズ船の来航を禁止している分を日本にと
- 積極的に誘致を進めている

クルーズ船の寄港3年ぶり



ウクライナ最新情勢



G20外相会合 全体討議開始 ウクライナ情勢 など議題の見込み

2023年3月2日 14時57分

G20

インドで開かれているG20＝主要20か国の外相会合は日本時間の午後1時ごろ全体討議が始まりました。ウクライナ情勢が主要な議題となる見込みで、アメリカやロシア、それに中国など各国の主張が対立するなか、激しい議論が行われているものとみられます。

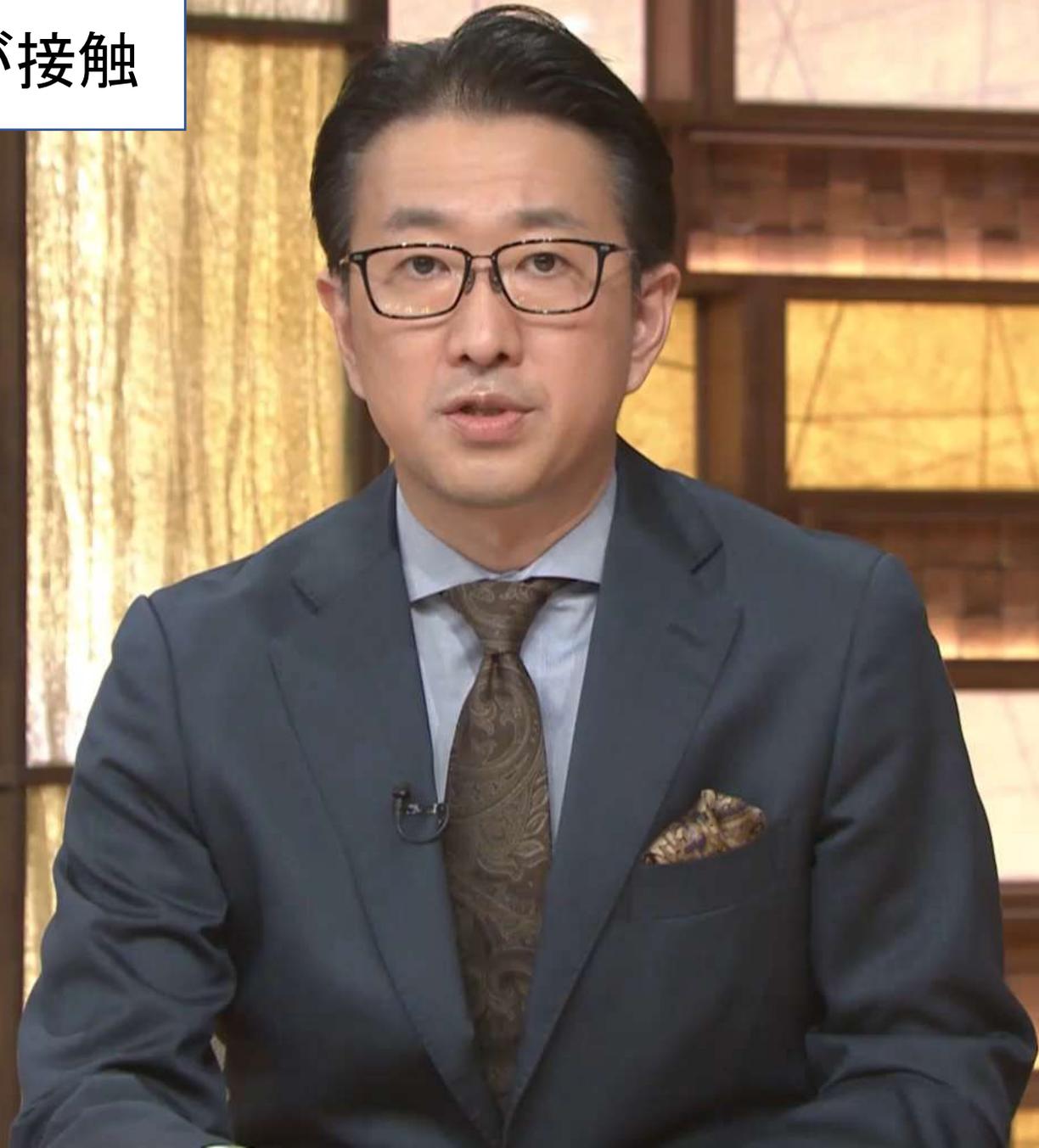
G20の外相会合は1日夜、インドの首都ニューデリーで開幕し、日本時間の2日午後1時ごろ、全体討議が始まりました。

G20外相会合

- 議長国は貧困問題や気候変動問題を中心課題と考えているが
- ロシアは様々な国と接触しウクライナ問題で欧米の対応を批判する提案か
- ロシア中国は共同声明に参加しないことを表明
- 国際会議の課題は大きい

G20で米露高官が接触

NEWS



ウクライナ軍の攻撃か

「モスクワ近郊にドローン墜落」州知事発表 近くに天然ガス施設

2023/02/28 23:03

ロシアのボロビヨフ・モスクワ州知事は28日、無人機（ドローン）が首都モスクワ中心部から110キロ南東の同州コロムナ近郊に墜落したと発表した。けが人などの被害は出ていないという。ロイター通信が報じた。ドローンの所属先は明らかにされていないが、ウクライナ軍が関与したとすれば、ロシアによる侵攻開始後、ウクライナ側の攻撃が最もモスクワに近付いたことになる。

ドローンの墜落地点の近くには天然ガス施設があり、ボロビヨフ氏はドローンが「民間インフラ施設を狙った」と主張。テロ対策を担当する連邦保安庁（FSB）が調査しているという。



モスクワ州に落ちた無人機を写したとみられる画像=通信アプリ「テレグラム」から

(毎日新聞)

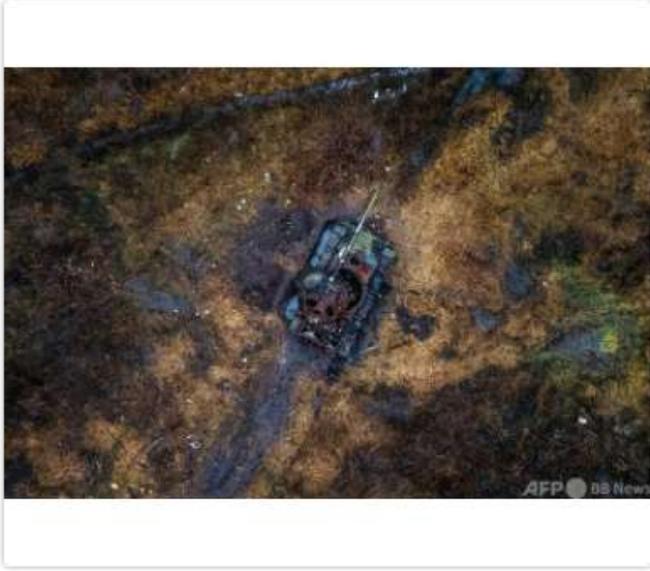
- ロシア領内への攻撃か
- 今回またロシア領内深くまでドローンが侵入
- ロシアの防空体制が不十分
- 本格的な攻撃にはなっていない



- その他にもクラスノダール州やアディゲ共和国にもドローが飛来
- 実害はなかったと発表
- ウクライナ軍の攻撃と断定
- ウクライナ側は否定せず

ロシア、ウクライナ戦闘員が南部州に侵入と主張

2023年3月2日 22:10 発信地：モスクワ/ロシア [ロシア, ウクライナ, ロシア・CIS]



ウクライナ・ハルキウ上空から撮影された、破壊された戦車（2023年2月26日撮影、資料写真）。(c)Ihor TKACHOV / AFP

【3月2日 AFP】ロシアは2日、ウクライナ人戦闘員の一団が南部ブリャンスク（[Bryansk](#)）州に侵入したと主張し、大統領府は「テロ攻撃」だと非難した。

ロシア当局は、一団を無力化させるために現地に治安部隊や軍を展開した。ウラジーミル・プーチン（[Vladimir Putin](#)）大統領もその後のテレビ演説で、「ネオナチ」や「テロリスト」が同州の一般市民に向けて発砲したと糾弾した。

大統領府のドミトリー・ペスコフ（[Dmitry Peskov](#)）報道官は、「ウクライナ戦闘員による攻撃があった」とし、「テロ攻撃」と表現した。ウクライナ側は、報道のような事実はないと否定し、「挑発」だと指摘した。

- ・ウクライナ軍がロシア領に侵入
- ・テロ攻撃
- ・ロシア側は撃退したと発表
- ・住民2人死亡

・ここで問題になるのはウクライナのロシア人義勇兵であったということ > 義勇兵が声明を出す

・この報道はAFPなどが行っている > ウクライナ側は国内問題として否定

ワグネルの兵士、バフムート市内に進軍か トップが動画公開

© 2023.03.03 Fri posted at 07:08 JST



ワグネルのトップ、プリゴジン氏が2日公開した動画から取得された静止画像/Concord/Handout/Reuters

(CNN) ロシアの民間軍事会社「ワグネル」のトップ、エフゲニー・プリゴジン氏は2日、ワグネルの兵士がウクライナ東部の要衝バフムートにいるところをとらえたものだと主張する動画を公開した。

CNNがバフムート東部で撮影されたものだと確認した動画には、戦闘服姿の兵士らが大きく損壊した建物の屋上でワグネルの旗を掲げている様子が映っている。兵士の1人はギターを手にしており、おそらくワグネル兵士のニックネームである「ミュージシャン」にちなんでいると思われる。

SNS「テレグラム」に投稿された動画のキャプションには、動画は今朝「バフムート、実質的にはバフムートの中心部」から送られたものだというプリゴジン氏の言葉が引用されている。

今後の展開のポイント

- 3月中にはドネツク州掌握を狙うロシア
- 要衝のバフムートを攻略か
- ワグネルが戦果を発表
- ウクライナ側の撤退も考えられる(ゼレンスキーも言及)
- プーチン氏の狙い通り
- ロシア軍の今後の展開は？
- 周辺では戦車戦が展開

ロシア情勢

プーチン大統領年次教書演説



年次教書演説

- プーチン氏は昨年から言っていることに変化はない
- ロシアは未来のため歴史的に重要な戦いをしている
- ウクライナのネオナチの脅威は排除しなければならない
- ロシアに助けを求めている
- ウクライナ国民と戦ってはいいない

米口核軍縮 履行停止

プーチン氏演説 米欧を牽制



モスクワで21日、年次教書演説を行うロシアのプーチン大統領（ロイター）

▼2国＝大義宣達	▼3国＝戦時下の訪問
▼7英＝関心し丁度	▼11英＝市民の苦
▼15英＝文書	

ロシアのプーチン大統領は21日、ウクライナ侵襲1年を前に上下両院にむく年次教書演説を行い、米欧が履行の義務を果敢としていないと批判し、「米欧間の『新戦略防衛協定』(新START)の履行停止を表明した。我が国の安全を確保するため決断した」として核力を正当化する従来の主張を繰り返して、停戦への道筋は見えない状況だ。

「米欧協力は昨年11月、再開に向けた協議を『ロシアが一方的に延期した』と明らかにしていた。プーチン氏は時局の演説で、戦争を始めたのは西側だとして、『我々は終わらせるために武力行使している』と主張した。侵襲の理由については、

「無責任」米・NATO反発

「戦争を始めたのは西側」

に帰罪を促す。プーチン氏は米欧は「ロシアの戦略的敗北」を目的にしているとして、米欧の責めを受け入れられないと強調。「米欧が(約)30年以降、行われていな

北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は21日の記者会見で、「誰もロシアを攻撃していない。プーチンが戦争をエスカレートさせている」と批判。プーチンが勝利することは、我々が自身の安全と世界全体に危険を及ぼす」と述べた。新STARTの履行停止

新STARTは米欧の戦略的課題などの数を制限するほか、相互の現地査察やデータ交換などを定める。米欧の間に残る唯一の核軍縮条約で、2021年9月

14年の政変で誕生したウクライナの「ネオナチ政権」に、ロシア無罪論を説く東部ドニバス地方の住民が攻撃されて『ロシアの助けを待っていた』と被害した。米欧の脅威も増強し、『ロシア協力は近に核能の生物研究所をつくっている』など主張。『基盤者はロシアだ』という根拠の乏しい論議を繰り返して、『我々がロシアに勝つのは不可能だ』と説いた。年次教書演説は21年4月以来、昨年は『大記者会見』などの恒例行事とも延期された。侵襲で危機が続く、国民に成果を示せないためとみられていた。ただ、この日も具体的な状況には触れなかった。

「我々もする」我々の責めを受け入れられないと強調。「米欧が(約)30年以降、行われていな

ウクライナという国は存在しない

- **元々ここはロシア**である 欧米を批判し自己を肯定
- そこに欧米が武器を持ち込み紛争を拡大している
- 欧米はどんどん強力な武器を持ち込んでいる



- ロシアを壊そうとしている
- 欧米の価値観を押し付けている結果である
- ロシア国民を守るための**正しい行動**をしている
- 核兵器を使えば1発で全てが終わる

露 プーチン大統領への支持…8割超 12月から1ポイント上昇 世論調査

ロシアによるウクライナ侵攻からまもなく1年を迎えます。プーチン大統領への支持は、長引く戦闘にもかかわらず、8割を超えていることが世論調査でわかりました。

独立系の「レバダセンター」は毎月、ロシア全土のおよそ1600人を対象に世論調査を行っていて、1月の結果を1日に発表しました。

それによりますと、「プーチン大統領の活動」に対しては82%が「承認する」として、12月の調査から1ポイント上昇しました。一方で、「承認しない」と答えた人は16%で12月の調査から1ポイント減りました。

ロシアによるウクライナ侵攻は、今月24日で1年を迎えますが、プーチン大統領の支持率は侵攻後の3月に71%から83%に跳ね上がり、その後、ロシア軍への「部分的動員」を発表した9月からの3か月は70%台に落ちました。

しかし、その後は再び80%台に回復していて、戦闘が長期化しているにもかかわらずプーチン大統領は高い支持率を維持しています。

また、同じ調査で「ロシア国内の物事が正しい方向に進んでいるか」との質問に対しては、66%の人が「正しい方向」と答えていて、こちらも12月の調査から3ポイント増えていました。

- ロシア国内でのプーチン大統領の評価
- 2023年1月 82%が大統領の活動を承認するとした
- +1% と依然高い
- 大統領の強気と国内の情報統制が影響しているのか
- 再度動員がかかる可能性大だがその時どうなるのだろうか？

● ロシアで20万人規模の愛国集会



プーチン政権支持のコンサート

- 22日 モスクワ近郊のルジニキスタジアムで開催
- 気温-15°Cの寒さに20万人が集まった
- プーチン氏は持論を述べる それに呼応する観客
- そして有名グループのコンサートが行われた
- 観客の大部分は国営企業や政府機関の職員
- ロシアの国旗を振って大声で反応する事
- 報酬は1000円と無料の食事(ソバの実とソーセージ)
- 出席しないと昇進に影響

러 포격에 엄마 잃었는데...

TV
CHOSUN
뉴스7

안나나우멘코

우크라이나인

삼촌, 마리우폴에서 내 동생과
아이들 수백 명을 구해줘서 고마워요.

19:20

문화 BTS 제이홉, 입영 연기 취소...진 이어 2번째로 입대 예정

TV CHOSUN
NEWS

この写真の説明

- 22日モスクワで開かれた「愛国コンサート」の一場面
- ここに登場した中央の男性と左の少女
- ウクライナの占領地・マリウポリから救出された子どもたちという表題
- 4月 マリウポリのミサイル攻撃で母を失った15歳のアンナ
- 男性はロシア軍の兵士で少女をロシアに保護した
- 「おじさん、マリウポリで私の妹や子どもたち数百人を救ってくれてありがとうございました」と発言

一貫したプーチン氏の主張

- プーチン氏の演説は強いロシアを強調 経済的成功や社会給付医療施設のリニューアルなど強調
- 戦場の話はあまりせず遠い地での出来事と思わせる
- 全ては欧米が画策したこと⇒ロシアは自らを守る行為
- 反プーチンを少しでも表明すると投獄 メディア攻撃
- 芸術家たちもソ連的な伝統的価値観ものに
- 貧しい地方の住民に現金給付
- 戦闘経験は人生最良の学びと喧伝

カルト・オブ・デス

プーチン氏の対EU対策

ワールド 2023年2月22日 / 2:24 午後 / UPDATED 1日前

プーチン氏、モルドバ東部巡る政令取り消し 反西側措置の一環

[キシナウ 22日 ロイター]-ロシアのプーチン大統領は21日、ウクライナと国境を接するモルドバ東部の親口派トランスニストリア地域（沿ドニエストル共和国）を巡り、モルドバの主権を一部裏付けた2012年の政令を取り消した。

政令は欧州連合（EU）や米国との緊密な関係を想定してロシアの外交政策の概要を説明するもので、「沿ドニエストルの特別な地位を決定する際に、モルドバ共和国の主権、領土保全、中立的地位への尊重に基づき」分離派問題の解決方法を模索すると約束していた。

政令撤回命令は大統領府ウェブサイトで公表され、「国際関係で起きている重大な変化に関連して、ロシアの国益を確保する」ために決定されたとしている。プーチン氏が21日に発表した一連の反西側措置の一環だ。

ロシアはこれまで、EU加盟を進めると表明した親欧米派首相が誕生したモルドバとの関係について、非常に緊迫していると述べている。

- 21日にモルドバの沿ドニエストル共和国に対してのモルドバの主権を認める政令を取り消し
- 現在モルドバでは反政府デモが頻発
- 親ロシア政党がデモ隊をバスで送り込む
- 政権への揺さぶりか

制裁の効果なし

- 侵攻後直ぐに経済制裁が始まる
- ロシアは一時窮地に立つが現在は回復
- ロシア産の石油天然ガスの販売が続く
- ロシアから撤退する海外企業が多いのに困らない

並行輸入

スマホも高級車もずらり消費旺盛なまま

ロシア制裁隙だらけ



侵攻とは無縁のよきな、ありふれた週末の光景だった。

以前はマクドナルドだったロシアのハンバーガーチェーン「フクニスナ・イ・トーチカ」(おいしい、それだけ)の店。モスクワで18日夕に訪ねると、1時も2時もあるけな若者や家族連れで満席で、外はイルミネーションが輝いていた。加分特って常に並び、近くのタッチパネルでダブルバーガーのセットを注文した。4100円(約7300円)はロシアで発行されたクレジットカードで支払える。ポテトは少し食感が変わり、ロシア製の「ドープルイ・コーラ(優しいコーラ)」がセットでついてきた。ロシアが昨年2月24日に



モスクワにあるフードコート。週末の外出を楽しむ客で満席で、多くの人が空気を暖めていた18日。

ウクライナへ侵攻してからまもなく1年、欧米や日本に制裁を科されているロシアの市民生活は、侵攻前とほとんど変わらない。

も豊富だ。相対には日本製のおむつも売っている。マクドナルドやスターバックスこそ撤退したが、地元チェーン店が事業を継承、多くの従業員が引き継ぎ雇用された。ドミノピザやラコスタなど、営業を続けるブランドもある。ロシアで販売を停止したはずの独ボルシエや米アップル社のiPhoneといった外国ブランドもなお、ロシアで店頭で並ぶ。こうした商品は正式ルートではなく、国外の仲介業者を経由し、欧州などから輸入した(並行輸入)一品だ。ロシア政府は侵攻後、並行輸入が可能な96品目のリストをつくるなど、価格を抑えて「以前通りの消費生活」を後押しする。モスクワで企業を経営するブワジスラフさん(仮名)は「旅行はしているし、レストランでの食事もあるし、制裁の影響はほぼ感じない」と話す。欧米は侵攻後、「ロシア

経済を崩壊させる」「フランスのルメール財相」として、ロシアに次々と制裁を科した。侵略戦争の費用が潤滑できないようロシア経済を追い込み、ロシア国民の配給配分を高めて停戦に追い込む狙いだった。侵攻から2カ月経たず、国際通貨基金(IMF)はロシアの2022年の経済成長率をマイナス8.5%と予測した。だが、数字はいま、別の現実を物語る。昨年12月のロシアの失業率は3.7%で、フランスの半分だ。通貨ルーブルは侵攻後、対ドル相場が約4割下落したが、いまは侵攻前の水準を取り戻している。IMFはロシア経済見通しの上方修正を撤回、今年1月末時点で今年の経済成長率をマイナス2.2%とした。翌年はプラス0.3%を見込む。抜け穴の大きな欧米の経済制裁を、複雑な思いで見つめる市民もある。侵攻に疑問を抱くモスクワのアレクサンドルさん(仮名)はこう話した。「経済が崩壊しないから戦争が続くんだ」

経済制裁の効果は

- ロシア国内で欧米のクレジットカードは使えない
- 中国の銀聯カードが代わりに使われるようになる
- マック撤退後居ぬきで入ったフクスナ・イ・トーチカ
- スーパーに行っても外国産の商品が並ぶ 日本製の紙おむつもある 欧米の会社が新たに参入
- 欧米の高級車や携帯電話機も普通に手に入る
- 失業率も3.7%とヨーロッパ各国から比べて低い
- 対ドル相場も侵攻前の水準へ

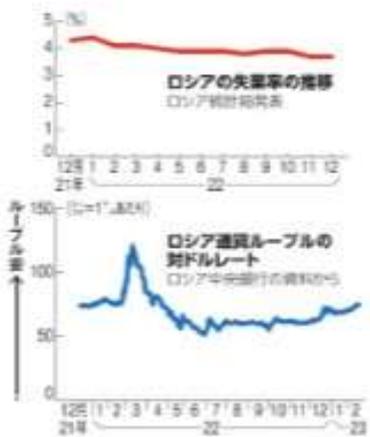
白国優先 制裁に裏ルート

欧州

ダイヤや原発産業はタブー

ウクライナへの侵攻をやめさせようと欧米や日本がロシアに課した経済制裁は、効果がいまひとつなままだ。「抜け道」や「抜け穴」、「抜け駆け」はどこにあるのか。

「石油に金、ウオッカにキヤリア……」欧州連合（EU）はこれまで、9回の輸送をロシアに科してきた。今日5日には、標準価格を対半にする追加制裁なる対象とする追加制裁案を公表した。



日本

中古車活況 カニ・ウニ・タラコも

（主要7カ国）の他の国と足並みをそろえ、ロシアに経済制裁の禁止項目の一つだ。対象は価格がより円高の車で、中古車だとメルセデス・ベンツやBMWといった高級車のみ。貿易統計によると、昨年10月に輸出された中古車は約20万台と前年より約1割増えた。ロシアで国外の自動車メーカーが生産を停止し、新車不足になったことで中古車の需要が急増したといふ。

入船のろちわずさかゝる程度、日本での存在感が高いカニやウニといった水産物は対象に入らず、一部食品がロシアに対する「最恵国待遇」の適用で関税が安かっただけだ。昨年の水産物輸入は、金銀共に前年からの10%以上増えた。ロシア産のタラコなどが今日も日本の食卓を支えている。田中元首相は今年1月の施政方針演説で「対ロシア、対ウクライナ支援を引継ぎ、機力に備えよう」と述べた。

対口貿易 中国・インド増

「脱ロシア」を促した欧米はそれでも、ロシア産原油にも制裁を科すなどして対口貿易を大幅に減らしてきた。だが、世界的に見れば制裁に加わらない国が増えている。インドや中国は多岐にわたる対口貿易を増やし、欧米で空いた穴の一部を埋めている感がある。



ウクライナ 侵攻1年



ドイツの自動車メーカーがロシア産の半導体部品を確保するために、ベルギー北部アントワープ、天川造船所へロシア行きの中古車が運ばれ、輸出準備中。天川造船所は、輸出準備中。

主な国の対口貿易の変化
2021年11月と2022年11月の対比

ロシアからの輸入額	ロシアへの輸出額
27% ↑	18% ↑
464% ↑	-5% ↓
55% ↑	86% ↑
-36% ↓	-34% ↓
-59% ↓	-51% ↓
-99% ↓	-78% ↓
-79% ↓	-88% ↓

【経済産業省経産局】(OECDのデータから)

一方、制裁の影響が大きかったのが半導体などのハイテク部品や薬だ。ロシアの自動車大手アプタパズは

半導体や薬

一方、制裁の影響が大きかったのが半導体などのハイテク部品や薬だ。ロシアの自動車大手アプタパズは

10回を超える経済制裁

- でもすり抜けることが可能
- 例 ダイヤモンド市場 世界の1/3を生産
- ベルギーが反対で制裁できず
- アントワープで世界の8割を取引
- 年間400億ドル(約5.3兆円)
- 採掘 取引 研磨 小売りと分業
- 原産国が分からない
- ロシア産はインドで研磨されて市場へ

ダイヤモンド生産シェア (2021年)



その他の状況

- 原子力発電で使われるEU内のウランの2割はロシア産
- 天然ガスもEU内で10%に減ったが0にはできない
- 一回輸入も行われている可能性が大 前年比3割増
- 日本からは中古車が大量にロシアへ 昨年20.5万台
- カニやウニ、タラコ等は経済制裁対象外
- 経産省幹部は「真空切り」と表現
- 日本のエネルギー源の確保に直結するサハリン1・2の継続も決定りている(欧米は撤退)

主な国の対口貿易の変化

2021年11月と2022年11月の比較

 → 		 → 
ロシアからの 輸入額		ロシアへの 輸出額
27% ↗	中国	18% ↗
464% ↗	インド	-5% ↘
55% ↗	トルコ	86% ↗
-36% ↘	日本	-34% ↘
-59% ↘	ドイツ	-51% ↘
-99% ↘	英国	-78% ↘
-79% ↘	米国	-88% ↘

「経済複雑性観測所」(OEC)のデータから

中国・インドが支える

- 王毅政治局員が訪口
- 中ロ関係は強いと確認
- 経済制裁に参加しない途上国
- 経済制裁が効いている部分も
- 半導体や医薬品
- 航空機事故が多発している
- 高性能ミサイルの生産減
- 冷蔵庫や洗濯機の輸入拡大

習近平
訪口要請

- 新戦略兵器削減条約(新START)履行停止
- 原因は欧米が義務を果たさず
- 戦争を始めたのは欧米
- 我々は戦いを止めるために行動
- 欧米は悪でありロシアは正しい

米口核軍縮履行停止

プーチン氏演説米欧を牽制

ロシアのプーチン大統領は21日、ウクライナ侵攻1年を前に上下両院に対する年次教書演説を行い、米国が履行の義務を果たしていないなどとして、米口間の「新戦略兵器削減条約」(新START)の履行停止を表明した。「我が国の安全を確保するため決断した」などと侵攻を正当化する従来主張を繰り返し、停戦への道筋は見えない状況だ。

▼2面=大義変遷	▼3面=戦時下の訪問
▼7面=縮むIT産業	▼11面=市民の声
▼15面=交論	



モスクワで21日、年次教書演説を行うロシアのプーチン大統領(ロイター)

「戦争を始めたのは西側」

に期限を迎える。

プーチン氏は米国が「ロシアの戦略的な敗北」を目論んでいるとして、米国の査察は受け入れられないと強調。「米国が(核)実

験をすれば、我々もする」とも述べ、核軍拡に発展させる可能性を示唆して米欧を牽制した。ただ、相互の現地査察は20年以降、行われていな

い。米國務省は昨年11月、再開に向けた協議を「ロシアが一方的に延期した」と明らかにしていた。プーチン氏は2時間弱の演説で、戦争を始めたのは西側だとして、「我々は終わらせるために武力行使している」と主張した。侵攻の理由については、「無責任」米・NATOのストルテンベルグ事務総長は21日の記者会見で、「誰もロシアを攻撃していない。プーチンが戦争をエスカレートさせている」と批判。「プーチンが勝利することは、私たち自身の安全と世界全体に危険を及ぼす」と述べた。新STARTの履行停止

新STARTは米口の戦略核弾頭などの数を制限するほか、相互の現地査察やデータ交換などを定める。両国の間に残る唯一の核軍縮条約で、2026年2月

ブリンケン国務長官が中央アジア訪問

米国務長官がカザフ訪問 中ロ両国に圧力強化

2/28(火) 8:09 配信 4



AFP通信によると、ブリンケン米国務長官が28日、旧ソ連構成国カザフスタンを訪れた。

ロシアのウクライナ侵攻で安全保障環境が変化する中、地政学上の要衝・中央アジアへの関与を深め、東西に位置する中ロ両国への圧力を強める考えとみられる。

カザフは、プーチン政権に勢力圏と見なされる一方、ロシア系住民を抱える事情はウクライナと似ており、ロシアの侵攻や占領地「併合」は認めていない。27日には急ぎよ、在ロシア通商代表部を閉鎖。ロシア下院の有力議員は

自国メディアに対し「カザフが米国の制裁を科されることを恐れたのが理由ではないか」と指摘した。



カザフスタンへ向かう機内に乗り込むブリンケン米国務長官 = 26日、ワシントン近郊のアンドルーズ空軍基地 (AFP時事)

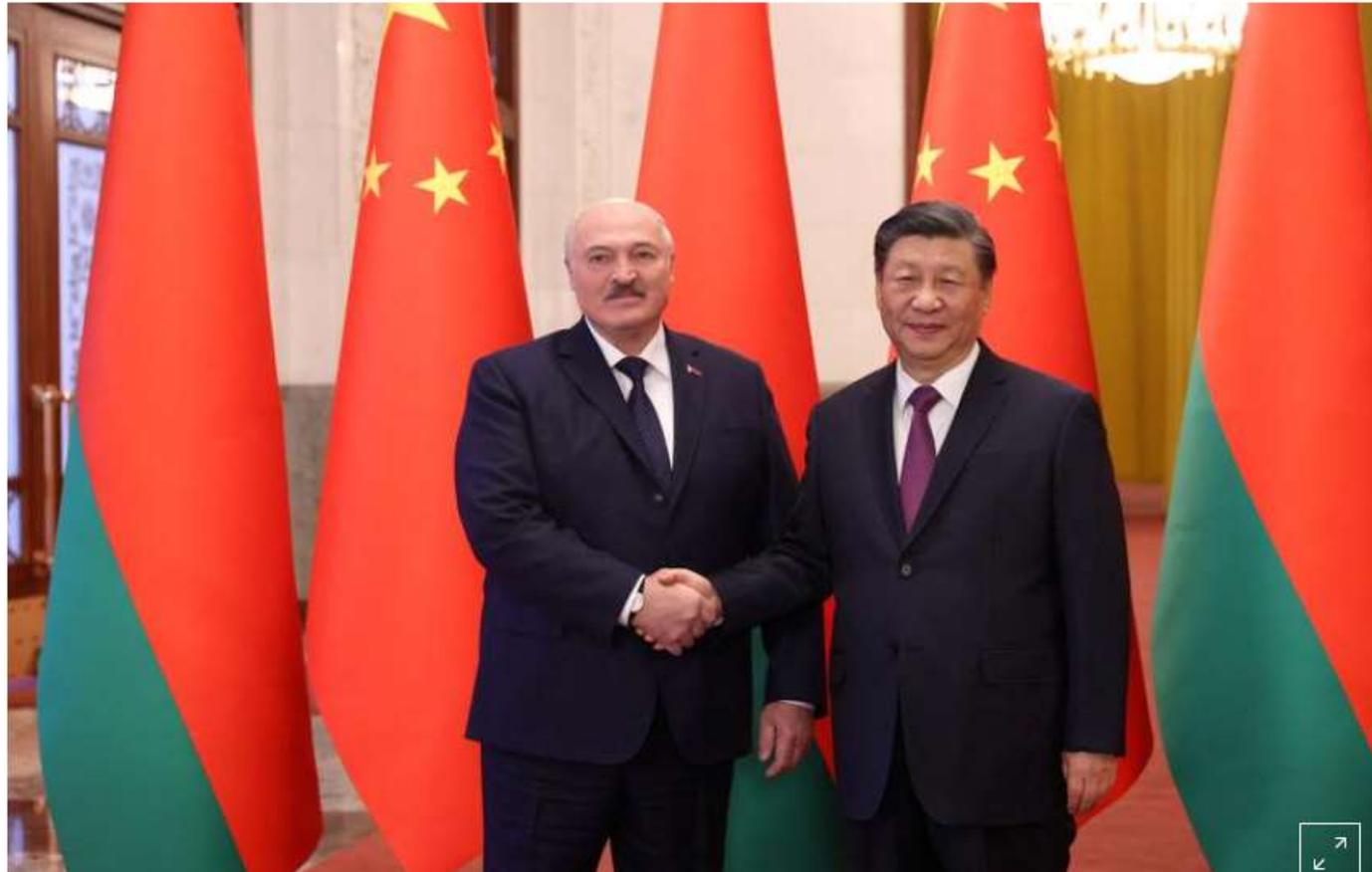
- 旧ソ連構成国へ
- ロシアと中国の中間に位置する
- アメリカは楔を打ち込みたい
- ロシア通商代表部を閉鎖
- ウクライナ侵攻には批判的

ルカシェンコ大統領の訪中

中国とベラルーシが連携強化、ウクライナ情勢も協議 首脳会談で

ロイター編集

1分で読む



- 3月1日 中国の要請で訪中
- 包括的なパートナーシップ強化で調印
- ウクライナにおける平和の早期確立に極めて高い関心を示し中国提案の仲裁案に同調

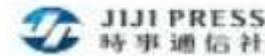
習近平ルカシェンコ会談



中国が武器供与か

中国、ロシアにドローン供与か = 4月までに100機—報道

2023/02/24 17:44



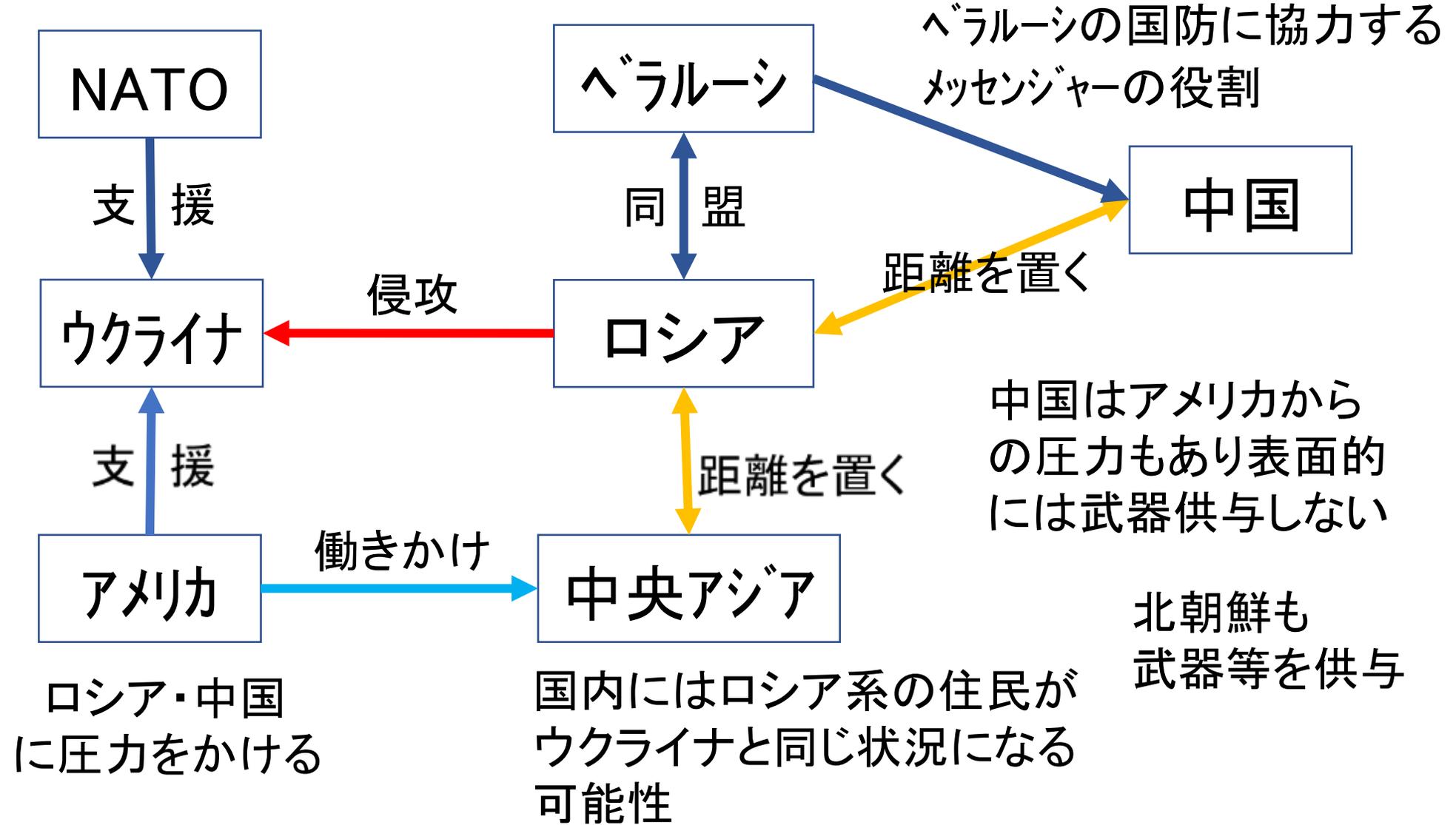
【ベルリン時事】ドイツ有力誌シュピーゲルは23日、中国企業がロシアに攻撃型無人機（ドローン）を引き渡す準備をしていると報じた。既にロシアがウクライナ侵攻に投入しているイラン製の「自爆ドローン」と似た設計で、4月までに100機が納入される可能性がある。実際に供与されれば、ウクライナを支援する米欧諸国と中国との対立は決定的になる。

シュピーゲルによると、中国企業はドローン試作機100機を製造し、4月までにロシア国防省に送る方向で調整している。さらに部品と技術を提供し、ロシア国内で月に100機程度を製造できるようにすることも計画中的という。

- 一部に報道されたもの
- ロシアの武器不足をどうするか
- 中国のドローンを供与
- ロシア国内での製造も計画中

ベラルーシ経由で武器をロシアへ

フィンランドの
NATO加盟
国内で了承



ロシアの対外政策

- 国際的に孤立しないために
- 不安定な国へ積極的に援助
- 欧米は支援の見返りに人権など確保
- これに嫌気を感じる政権がロシアを選択
- ワグネルによる支援は国の関りを不透明に

内戦国にロシア急浸透

1面から続く

中央アフリカの首都バンギの大通りにある交差点には、子連れの母親を守るように銃や武器を構えるロシアの軍事顧問の像が建てられている。

AFP通信によると、昨年2月のウクライナ侵攻直前、後の前に数百人の市民が集まり、ロシア護衛を拒んでロシア支持を訴えた。

中央アフリカ



中央アフリカの首都バンギの交差点に建てられたロシアの「軍事顧問」をたたえる像。2022年11月3日、中野昭博氏撮影

市民「ウクライナの戦争 知ったことでない」

人形もこうした市民の一人だ。「ロシアとウクライナの戦争は我々の知ったことではない」と話す。

彼らがロシアを強く支持するのは、中央アフリカが長らく内戦に苦しんできたためだ。

2013年にはイスラム系反政府勢力がバンギを襲撃、キリスト教系の武装勢力も自衛するなか、各地に反政府勢力が入り乱れ、政府の支配が及ばない地域も多かった。

こうしたなか、旧宗主国のフランスは13年に軍事介入を開始。国連も14年から平和維持部隊を派遣する。だが、フランスは16年、目標を達成したとして兵士の大半を撤退させた。

この時期から、中央アフリカ政府は急速にロシアに近づいた。18年には旧宗主国の旗幟のため、ロシアから軍事顧問を受け入れることでロシア政府と連携した。

ロシア側には、どんなメリットがあるのか。

米戦略国際問題研究所（CSIS）は、軍事支援の代わりに「食、ウラン、ダイヤモンドへのアクセスを得た」と指摘しており、権威的なを得たとみられる。

また、欧米から孤立する中でアフリカに友好国を増やし、国連総会などの投票で自国を有利

軍事支援 狙いは金・ウラン・国連投票？

にする狙いもあるとみられる。

ロシアが中央アフリカを重視するきっかけとなったのが、2017年に反政府勢力連合がバンギへ侵襲してきたことだ。

謀士の約1分の3が反政府勢力の手中に落ちた当時のバンギの様子を、ボレンさんは「武装勢力が目前に迫り、銃声が時聞も響く」と述べ、本邦に劣るしかつた」と振り返る。

この時、中央アフリカ政府軍はロシアの軍事顧問やルワンダ軍などの協力を求けて反撃し、反政府勢力の攻勢を押し返した。ロシアは二期、数世の上りたため、17年11月に軍事顧問の像が建てられた。

ボレンさんは「反政府勢力と戦うために中央アフリカまで来てくれたロシア人については、私は支持する」と強調した。

一方で、中央アフリカでは軍事顧問による人権侵害が報告されている。

国連安保理の専門家パネルは17年1月の報告書で、中央アフリカ中部マリマリの検問所で民間人の乗ったトラックが政府軍とロシアの軍事顧問に突如襲撃され、3人が死亡、16人が負傷したとの証言を得たと報告した。中部の別の町では、軍事顧問と強い関わりがあった元兵士の男性が射殺されたという。

ロシアの民間軍事会社の活動が 確認されたアフリカ大陸の主な国

2016~21年。すでに撤退したと
される国も含む。米戦略国際
問題研究所(CSIS)による

ギニアビサウ



ワグネルが活動

- 現在は中央アフリカやマリ、スーダンに積極的に進出
- ワグネルは民間企業なので国が資金提供しなくて良い
- 石油や天然ガスのように相手が欲しがるものがある



ウクライナ従軍終えた元受刑者に恩赦、ロシア傭兵企業

© 2023.01.15 Sun posted at 17:00 JST

(CNN) ロシアの民間軍事企業「ワグネル」の創始者エフゲニー・プリゴジン氏は15日までに、刑務所で募りウクライナ戦争に従軍させていた複数の元受刑者が半年の軍役を終え、恩赦を付与されて自由になったことを明らかにした。

ロシア国営のRIAノーボスチ通信は、同氏が「名誉を持って契約を完了した」などの言葉でねぎらい、ワグネルの傭兵(ようへい)として送り込まれていたこれら元受刑者を抱擁し、握手して話を交わす映像を公開した。

今回恩赦を受けたのは刑務所でワグネルの傭兵として最初に選ばれ、前線に赴いて戦闘任務を終えた元受刑者たちとみられる。

昨年夏には軍服姿のプリゴジン氏が複数の刑務所でウクライナへの派遣の見返りに恩赦の付与を伝える様子を収めた映像が出回っていた。「生まれつきの戦士であり、戦争が続く中で彼らは母国を防衛する必要がある」などとも発言していた。

選抜した傭兵候補に「深酒するな。薬物に手を出すな。女性をレイプするな。問題を起こすな」と諭す姿も収められていた。

- 最初に派遣された5000人は全滅ともいわれる
- 十分な訓練をせず不十分な装備で投入
- 1月中旬最初の50人に恩赦
- 6か月戦いアドレナリン使い果たしたのでおとなしく生活を

ロシア側のネックとなるか

「弾薬供給を拒否」 ワグネルトップがロシア軍批判
対立激化か

2023/2/21 11:00

国際 | 欧州・ロシア **ウクライナ侵攻**



ロシアの民間軍事会社ワグネル創設者のプリゴジン氏
= 2022年12月24日 (AP)

ウクライナ侵略を続けるロシア軍側で参戦している露民間軍事会社「ワグネル」トップのプリゴジン氏は20日、露軍上層部がワグネルに弾薬の供給を渋っていると非難する声明を交流サイト（SNS）上で発表した。ワグネルと露軍の間では軍事作戦での主導権を巡る確執が生じているとの観測が強く、プリゴジン氏の声明は両者の対立の激化を改めて示唆した。

プリゴジン氏は声明で、露国内には弾薬があるにもかかわらず、ワグネルの弾薬不足が解消されていないと指摘。露軍のスロビキン副司令官が総司令官を務めていた時期には弾薬供給に問題はなかったとも述べた。1月にスロビキン氏に代わって総司令官に任命された格拉シモフ参謀総長や人事を発令したショイグ国防相を暗に批判した形だ。

- 影の軍隊ワグネル
- 堂々と表舞台に
- ウクライナ侵攻で戦果を挙げる
- ロシア国軍の失策
- 30万人の予備役
- 国軍の再建で自信
- ワグネル脱却へ一歩

ロシア軍の新しい組織を公開



ロシア軍元兵士が語るウクライナ



若者の心のケアは？

漫画「H×H」まねた若者集団が大暴れ ロシア、350人以上連行

2/28(火) 7:36 配信

朝日新聞
DIGITAL



ウクライナ侵攻1年にあたる24日と翌25日、モスクワでけんかのために集まった350人以上の若者が連行された。ロシアの経済紙RBCなどが27日伝えた。この集団は、日本の人気漫画「HUNTER×HUNTER（ハンターハンター）」（H×H）に出てくる盗賊集団の名称やマークを使い、各地で暴力事件を起こしているという。

「民間軍事会社『旅団』」を名乗るグループのメンバーとみられる写真。服にはクモのマークが描かれている=SNSから

【写真】アニメや漫画のグッズが並ぶロシアの店。若者が次々と訪れていた=2022年6月、サンクトペテルブルク

RBCによると24日、モスクワのショッピングモールや地下鉄の駅で226人が拘束され、うち188人が未成年だった。

若者らは二つの対立する集団に所属し、ナイフやエアガン、ガスボンベなどを所持している人もいたという。25日までに拘束者は350人以上になった。

- 若者同士がけんか
- 日本のアニメ ハンターハンターの影響といわれる



- 少年ジャンプに掲載中
- 旅団というグループを作って戦う
- 徹底的に攻撃していく
- 死もいとわず
- かなり暴力的な内容
- テレビでも放映
- 5月に舞台化

若者の心のケアは？

漫画「H×H」まねた若者集団が大暴れ ロシア、350人以上連行

2/28(火) 7:36 配信

朝日新聞
DIGITAL



ウクライナ侵攻1年にあたる24日と翌25日、モスクワでけんかのために集まった350人以上の若者が連行された。ロシアの経済紙RBCなどが27日伝えた。この集団は、日本の人気漫画「HUNTER×HUNTER（ハンターハンター）」（H×H）に出てくる盗賊集団の名称やマークを使い、各地で暴力事件を起こしているという。

【写真】アニメや漫画のグッズが並ぶロシアの店。若者が次々と訪れていた=2022年6月、サンクトペテルブルク

「民間軍事会社『旅団』」を名乗るグループのメンバーとみられる写真。服にはクモのマークが描かれている=SNSから

RBCによると24日、モスクワのショッピングモールや地下鉄の駅で226人が拘束され、うち188人が未成年だった。

若者らは二つの対立する集団に所属し、ナイフやエアガン、ガスボンベなどを所持している人もいたという。25日までに拘束者は350人以上になった。

- 若者同士がけんか
- 日本のアニメ ハンターハンターの影響といわれる
- 若者の不安がこういった行動になる？
- 戦争が長引くことでいつ徴兵されるか等の精神的不安が大

ウクライナ侵攻が広げる心理的影響

- 非日常であった戦争が日常になった
- 鳴りやまない空襲警報 ミサイルの飛来
- 死が現実の問題として心に重くのしかかる
- 国を守らないという責任感
- 自分がその場に派遣されることの不安 = 死・障害
- こういったことに対するケアが十分で無い
- 荒れた心のやりどころが「リヨダン」へ
- ウクライナ国内でも見られる